

KRC WEB REPORT

徒然想

早朝、まだ眠い頭を引き摺って、ゴリゴリとコーヒー豆を挽きますと、少しひんやりした秋らしい空気に包まれます。夏の間グングンと成長していた観葉植物の元気が控えめになってきた様子を見ながら、季節の移り変わりを感じます。ところで、夏から秋にかけての気温の変化は、私たちの心臓にも負担をかけるようです。朝晩の冷え込みが激しいと、血管の収縮によって血圧も上昇しやすくなるそうです。また、昼間の暑い日は発汗で体内の水分バランスが崩れて、これも心臓に負担をかける要因なのだそうです。さらに、仕事などのストレスは心拍数や血圧を上昇させたり、不整脈を引き起こすこともあるようです。ゆっくりコーヒーでも飲んで、一休み気分での WEB レポートをご覧ください。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

テーマ : 棒形スキャナ(SS-4)レンタルサービス開始

棒形スキャナ SS-4 は小径ドリル孔 (φ24.5~30mm) を利用して、コンクリート内部の鮮明な展開画像を取得する調査機器です。取得した展開画像からひび割れ深さやひび割れ幅、骨材の状態などを確認でき、さらにデジタルデータとして保存も可能です。

近年、社会インフラの老朽化が急速に進み、コンクリート調査の重要性がますます高まっています。こうした状況に対応し、より多くの皆様に手軽に活用いただきたい思いからレンタルサービスを開始いたします。短期からのレンタルが可能ですので、ぜひコンクリートの内部調査にご活用ください。詳細なレンタル価格や条件については、どうぞお気軽に弊社までお問い合わせください。



棒形スキャナ(SS-4)
※レンタル器にPCは付属していません



調査イメージ

棒形スキャナ (SS-4) 仕様

| 型式 | SS-4 |
|---------|--|
| 調査可能孔径 | φ 24.5~30mm |
| 調査可能深度 | 400mm |
| 出力解像度 | 600dpi (1pixel:0.042mm) 24bit フルカラー |
| データ保存方法 | パソコン/SDカード |
| 外径寸法 | W:80×H:100×L:785mm (突起物含まず) |
| 電源供給 | 充電電池/ACアダプタ |
| その他 | 画像合成アプリケーション付属 |



孔内展開画像

●棒形スキャナに関する詳細はこちら : https://www.krcnet.co.jp/service/service_product_ss.htm

※本調査機器は、伊藤幸広教授 (佐賀大学大学院工学系研究科) により開発されました。

※棒形スキャナ SS-4 は、広島市産業振興センター 令和元年度「新成長ビジネス事業化支援事業」の助成を受けています。